



# わかば新聞

2026年  
1月号  
NO.125



一昨年は「わかば」開設10周年を迎えた関係各位様とお祝いさせていただきました。

今年は皆様にとってより良い年であることをお祈り申し上げます。

特養施設として入居者やデイサービスおよびショートを利用されている皆様に、質の高い介護を提供する使命を持っています。体交、着替え・洗面・歯磨き、清拭、入浴介助および食事介助など様々な分野で安全で安心の介助に心がけていきます。

さて高齢化と介護度の高い（介護度4や5）皆様のサポートに「わかば」は大きな課題に直面しています。それは自力で十分な食事を食べることができず栄養不足のため体力低下に繋がり転倒や転落および病気に対する抵抗力低下となります。

介護員が時間をかけて食事介助をするのですが、誤嚥（食べ物や飲み物が誤って気管にはいってしまうこと）を引き起こし、そしてむせる（飲食物や痰が気管に入り息が詰まる状態）、引き続きせき込みます。これらは生体防御の反射機能ですが体力の低下した方は十分に気管から飲食物を排出できずまたは頻回にむせこんで食事を摂取できなくなることがあります。最終的には誤嚥性肺炎や尿路感染を引き起こし入院加療となることがあります。余儀なく入院となり、毎日点滴などの生活は、まったく望んでいない生活のはずです。

入居者の皆様の健やかな生活を「わかば」で送れるように、体力向上と全職員が誤嚥の予防に力を入れて学習と実践に取り組む決意です。

2026年元旦

社会福祉法人わかやま虹の会 理事長 小西教之

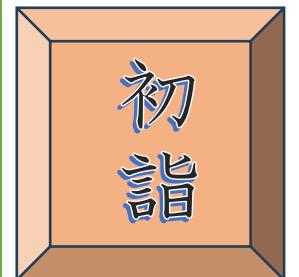


※馬の掛け軸は12月のオレンジカフェの参加者の作品です

良い年になりますように



若宮神社に初詣  
1月8日



わかば

〒640-8390 和歌山市有本140

T E L (073) 475-0015 F A X (073) 475-0016

HPアドレス <http://www.nijiwakaba.com/> ※「にじわかば」で検索



## 12/24 クリスマスイベントしました

職員が工夫を凝らした飾り付けをした1階ホールに、特養入所者様16名、ショート5名の方が集い、職員のハンドベル演奏やクリスマスソングを歌って楽しみました。そしてサンタに扮した職員が皆さんにプレゼントを配って回りました。お部屋にも回って皆さんに喜んでもらえました。



令和8年お正月  
のお節です。  
「謹賀新年」の  
カードと折り紙  
を添えました。  
b × 管理栄養士



## テイ\*便り

### 5日、若宮神社へ初詣



## 12/17 全体職場会議 夜間災害時訓練をしました

「震度7の地震が紀伊水道で発生！」という想定の下、シナリオに基づき職員が、各自役割を担って、災害時の行動をシミュレーションしました。その後グループでディスカッションしながら、問題点や今後の課題を話し合いました。



編 \* 集 \* 後 \* 記  
アメリカトランプ政権が、一月三日、ベネズエラを軍事攻撃して、大統領を拘束・連行したとの報道には、多くの人がびっくり仰天したのではないでしょか。  
「安全で適切、賢明な政権移行が実現するまで、我々が国を運営する」とも述べ、翌四日には、ベネズエラの副大統領に對して「正しいことをしなければ、マドゥロよりも大きな代償を払うことにならだらう」と警告したと報道されています。こんな無法行為が許されてよいのか。国連憲章、国際法を遵守する世界を直ちに取り戻さねばと思わずにはいられません。

戦後八十年、日本は、憲法九条による平和主義を国是とする国であり続けてきました。しかし、近年顕著に、仮想敵国を描き、アメリカ言いなりにかつてない大軍拡の政治をすすめています。国民の福祉、医療・介護を守るためににはこのよきな政治の転換が必要です。

日本国民の世論で、いのちとくらし、平和を守りぬく一年にしていきたいと痛感します。(丁)

